

5月史跡巡り「小石川後楽園と野球殿堂博物館OR小石川植物園」報告

A班 大岩

5月27日曇り空、気温は涼しく雨の心配をしながら実施、西武池袋集合
今回はおかげさまで男性9名女性10名合計19名と最近にない多数の参加
(謝謝)

池袋から後楽園駅、東京ドームをめざし、まずはドーム近くのスーパーで弁当を確保
小石川後楽園に向け出発、約20分で到着

小石川後楽園は水戸徳川家の祖である頼房が造り、時代劇で有名な二代藩主光圀が
完成した庭園です

「海・山・川・田園」に見立てた起伏に富んだ景観の中に、日本と中国の景勝地が
数多く展開する和漢の調和が美しい庭園です。

「大泉水」・琵琶湖を見立てて作られた池

「唐門」・「稻田」・「梅林」・「円月橋」など、園路にそって多彩な風景が楽しめました



円月橋にて



花菖蒲田

途中、蓮の花や花菖蒲など観賞し団体休憩所に到着 1時間くらいの散策でした
休憩所で昼食(11:30~12:20)、他の団体もいて満員御礼
昼食を終え、午後の部は野球殿堂博物館か小石川植物園の二手に分かれて
いずれGrも東京ドームまで戻り、野球殿堂博物館12名と小石川植物園7名に分かれ散会



野球殿堂博物館は、1959年6月12日、日本で最初の野球専門博物館として、

後楽園球場に隣接する場所に開館しました
 その後1988年3月17日に東京ドーム21ゲート右側の場所へ移転
 館内では、プロ野球12球団の現役選手の用具、国際大会の資料、
 明治時代の野球用具など、プロ・アマ問わず国内外の野球に関する資料を展示し、
 野球の歴史と現在をわかりやすく紹介しています
 また、野球殿堂ホールでは、これまでに野球殿堂入りした207名(2020年現在)の
 肖像レリーフを掲額しています
 しばし休憩し、それぞれリリーフカーに乗り写真撮影
 約1時間の滞在を終え帰路につきました



野球殿堂博物館にて



現役選手のユニホーム等を展示



野球殿堂入り肖像レリーフ



しばし休憩

もう一方の小石川植物園は植物学の研究・教育を目的とする東京大学の附属施設です
 植物園に13:05に着いて、ニュートンのリンゴの木、クスノキの巨木、温室など
 見所たっぷりの植物園でした。15:10まで、約2時間かかりました、まだ時間が
 足りなかったぐらいです。本日の総歩行数は2万歩、登り降りがないものの疲れしました。
 約2時間の滞在を終え、茗荷谷駅に15:35帰路につきました

